

尾花沢地区 公民館だより

令和3年7月1日 発行 ■ 尾花沢地区公民館 (Tel. 23-2016・Fax 24-0383)
〒999-4225 若葉町1丁目4番27号(サルナート内事務室) E-mail: oba_k@city.obanazawa.yamagata.jp



7月の予定

- 2日(金) さわやかあいさつ運動(北村山高校)
- 6日(火) さわやかあいさつ運動(尾中)
- 9日(金) 花笠地域安全活動(ザ・ビッグ尾花沢店)
- 15日(木) 歴史講座Ⅰ③(ハイビジョンホール)
- 20日(火) こども見守隊(尾花沢地区)
- 20日(火) 尾花沢地区代表区長会
- 20日(火) 老人クラブ役員会
- 27日(火) 上の畑焼 絵付け教室(芭蕉清風歴史資料館)

聖火リレーでのまつり囃子応援

5月22日(土)から尾花沢まつりばやし教室が開校しました。
また6月7日(月)芭蕉清風歴史資料館前で聖火リレーランナーの応援を行いました。晴天で暑い中ランナーへの応援演奏お疲れ様でした。



募集 夏休み体験教室 上の畑焼 絵付け教室

■ 日時：7月27日(火) 9:30～
銀山上の畑焼陶芸センターの伊藤瓢堂先生を講師に絵付け教室を行います 参加費 500円
■ 場所：芭蕉、清風歴史資料館にて
■ 申込は7月15日(木)まで
小学生以上、先着10名
尾花沢地区公民館
Tel.23-2016へ



上の畑焼復興40年の歩み特別展開催

天保4年に上の畑村で興された上の畑焼。
復興40年を迎えその奇跡を展示。
銀嶺荘の陶壁画を復元し特別展示。

お問い合わせは
芭蕉、清風歴史資料館へ
7月22日から8月10日まで開催



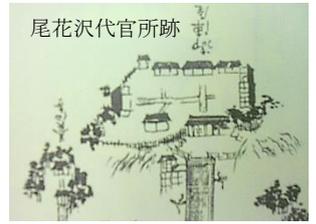
各地区的町内会を紹介します！ 私たちの町内会

「田沢地区の紹介」 田沢区長 大類 幸喜

田沢地区の今は、田植えも終わり根が力強く張って緑が一段と輝いて過ごしやすい季節になっております。田沢の番地は大字牛房野〇〇番地と記載になっており、牛房野の中の田沢となります。そして尾花沢市内から見て牛房野地区の手前の地区になっております。その昔には地区前の田んぼに漆坊遺跡がありまして、基盤整備の前に発掘調査が終わっており、土器、石器が牛房野の展示場に展示されております。縄文、弥生時代が1万年とも2万年とも続いたと言われており、この地に最古より生活があり今に至っている事にロマンを感じます。又、地区を登り上げると羽黒神社があり、地区の守り神であり、出羽三山の羽黒神社よりご神体を頂いていると聞いています。ここは小高い山になっており、一面ブナ林になっており低地でのブナ林は実に珍しいと言われています。春の新緑の時期は美しく一度訪れてもらいたいと思います。その北東に白山神社、またその北東に熊野神社(江戸時代より鈴木家屋号山久 現在は仲町鈴木徹氏管理)に守られて毎年元旦に地区の年祝いと新年会が祖父の代から何十年も続いております。その流れも在り地区の共同作業、体力づくり、お斎灯(準備も含む)等、地区民協力し合い推し進めております。公民館脇の土グランドを地区総出で芝を移植え替えた行動力はすごいです。今では立派な芝のグラウンドゴルフ場になっております。家の移転も割かし少なく、今は34軒になっておりますが、ここ30年位で2軒でしようか？ 少なくなっております。でもこれから色んな問題も在りましようが地区民と相談しながらより良い地区になる様心がけたいと思っております。最後に余談では有りますが、田沢地区では昔からの言い伝えで里芋の栽培が出来ません。科学的にはなにも証明出来ないのですが今でも守っております。以前市報で紹介された里芋が有りましたが、その薩摩芋と他地区で出来た里芋と物々交換したとも聞いております。



尾花沢の歴史 『尾花沢代官』⑭



【尾花沢代官の変遷について解説します】

松前藩預所尾花沢領

尾花沢小学校 (尾花沢代官所跡)

③戸田嘉十郎 (尾花沢・東根代官) 嘉永元年 (1848) 12月26日～安政2年 (1855) 4月28日
戸田嘉十郎代官は寺社御留役から尾花沢・東根代官に赴任。寒河江・柴橋代官には吉田錠太郎が着任した。安政2年 (1855) 4月28日、戸田代官が御納戸役頭に昇進したため、尾花沢・東根代官所は柴橋・寒河江代官松永善之助の当分預所となった。

④羽田十左衛門 (尾花沢・東根代官) 安政2年 (1855) 4月14日～安政3年2月28日
安政2年 (1855) 12月14日、支配替の内示があり、翌3年 (1856) 2月28日に東根附は松前藩の領知となる。

松前藩預所尾花沢領

安政2年 (1855) 12月4日、幕府は松前伊豆守崇広に蝦夷地上知の代償として、出羽国村山郡東根領と陸奥国伊達郡梁川領に3万石 (込高4万石余) の飛地を宛行い、幕府領の村山郡尾花沢領1万3941石余を預け、手当として毎年金1万8000両を支給することになった。松前氏は、ここに至って初めて米産地を有する城持ちの3万石の大名となったのである。

安政3年 (1856) 2月28日、幕府代官羽田十左衛門から松前藩奉行石塚官蔵が領地と東根陣屋・尾花沢陣屋を引き継いでいる
《文責 梅津保一》



さわやかあいさつ運動が 始まりました



北村山高



尾中

青少年育成尾花沢地区民会議「さわやかあいさつ運動」の様子

今年5月～11月まで年6回行われます。生徒のみなさんの元気な挨拶が聞こえてきます。

R2年度 尾花沢地区の人口と世帯
(6/1現在) (前月比)
男性: 3,399人 (+2)
女性: 3,613人 (-13)
合計: 7,012人 (-11)
世帯数: 2,587世帯 (-3)

R3年度 尾花沢地区の人口と世帯
(6/1現在) (前月比)
男性: 3,338人 (-5)
女性: 3,531人 (-10)
合計: 6,869人 (-15)
世帯数: 2,581世帯 (-5)

きりとり

みんなが、楽しく、明るく、喜ばせるための標語募集

- ◇表彰：最優秀賞、優秀賞を選び賞状・賞品を贈呈します。
- ◇活用方法：最優秀・優秀作品は、地区内たて看板を設置して広く啓発します。また、公民館だより等に掲載します。

標語		
ふりがな	電話番号	
氏名		
住所	尾花沢市	

一般公募



- ◇×切り：8月20日 (金)
- ◇提出先：尾花沢地区公民館

＝ お申し込み・お問い合わせ ＝
尾花沢地区公民館
Tel 23-2016 / FAX 24-0383
★応募用紙は公民館にも用意しています。

◆主催◆

青少年育成尾花沢地区民会議
尾花沢市防犯協会尾花沢支部
尾花沢地区子ども会育成協議会
尾花沢地区公民館